

漢法苞徳塾資料	No. 208
区分	疾病・病機
タイトル	難經 5 6 難 五積の病機表
著者	八木素萌
作成日	1991.07

積名	臓	受邪蔵	季節	日時	積状	旺気臓	病候
肥気	肝	肺	季夏	戊己日	左脇下 如覆杯 有頭足	脾	癆咳逆 瘡虐
伏梁	心	腎	秋	庚辛日	起臍上 大如臂上至心下	肺	病煩心
痞気	脾	肝	冬	壬癸日	在胃脘 覆大如盤	腎	四肢不収 癆黄疸 飲食不為肌膚
息賁	肺	心	春	甲乙日	右脇下 覆大如杯	肝	洒淅寒熱 喘咳癆肺壅
賁豚	腎	脾	夏	丙丁日	癆于少腹 上至心下 若豚状或上或下無時	心	喘逆 骨痠少氣

註(八木)

- ◇肥気・肝積→肺受土邪：木邪は、両書ともに「風」。
- ◇伏梁・心積→腎受金邪：火邪は、両書ともに「熱・暑」
- ◇痞気・脾積→肝受水邪：土邪は、『難經』では「飲食・労倦」；『内経』では「湿邪」。
- ◇息賁・肺積→心受木邪：金邪は、『難經』では「傷寒」；『内経』では「燥邪」。
- ◇賁豚・腎積→脾受火邪：水邪は、『難經』では「湿」；『内経』では「寒」。

『18 難』下段に積聚脈の記述がある。

「…診在右 脇有積気・得肺脈結・脈結甚則積甚・結微則気微・診不得肺脈・而右脇有積気者・何也？ 然・肺脈雖不見・右手脈当沈伏。其外痼疾同法耶？ 将異也？ 然・結者・脈来去時一止・無常数・名曰結也・伏者・脈行筋下也。浮者・脈在肉上也・左右表裏・法皆如此。仮令脈結伏者・内無積聚；脈浮結者・外無痼疾；有積聚脈不結伏・有痼疾脈不浮結・為脈不応病・病不応脈・是為死病也。」